

# 「祈りの戦士」

「祈り」とは、自分が祈ることと思っていますが、実は「悪魔との戦いの戦場」(エペソ 6:12)での戦いです。悪魔は、人の目を覆い、誘惑し、操っています。そして気付いたときには、神に反する罪に足を取られ抜け出せなくなってしまう。この巨大な敵・悪魔に勝利できるのは、私たちの救い主イエス・キリストだけです。私たちは弱い人間ですが、主の御名によって祈るなら、この祈りによって、主イエス・キリストの力は解放され、悪魔に勝利できます。その意味において、私たちは主イエスの戦いの戦士です。

祈りの戦士の資質とは何かみていきましょう。

## 今日の聖書の学びの要点

- ・ 神様のわざは祈りによって成されます。復活の主ご自身であるご聖霊が、弱い私たちと共にいて下さり、主と共に歩むことを通して、私たちを祈りの勇者に変えてくださいます。

## I、旧約時代の祈りの戦士

1、 出エジプト 17 : 8～16 に祈りが現実を動かす直接的な記述があります。勝利を決定した理由は何か確かめてみましょう。

- ① エジプトから出て来たイスラエルの民に挑戦して来たアマレクとの戦いで、実際に戦ったのは誰でしょうか。
- ② 勝利を決定づけたのは、何でしたか。
- ③ モーセの手が疲れて降ろされ、祈るのを止めたらどうだったでしょうか。

2、 I 列王記 17～18 章にエリヤのことが書かれています。

- ① エリヤの祈りで何が起きましたか。(I 列王記 17:1)
- ② バアルの預言者に勝利した後、エリヤはどうしましたか。(I 列王記 18:41～46)
- ④ エリヤが祈らないで、アハブ王のするままになっていたら、国はどうなっていたでしょうか。

## Ⅱ、新約時代の祈りの戦士

1、旧約時代には偉大な信仰の指導者が祈り、民を導きましたが、イエス様が復活・昇天された後、教会の指導者たちはどうでしたか

①教会の指導者たちはどのような人々でしたか。

- ・聖書に通じていたのか
- ・信仰が深い人たちなのか
- ・主イエスの十字架のとき、弟子としての役目を果たせたのか。

②イエス様の教会の働きをするのは、誰の力によるのでしょうか。

(マタイ 26 : 36~41)

- ・弱い弟子たちはどなたと一緒に生きていたのでしょうか。
- ・様々な事柄に、誰に頼っていたのでしょうか。

③彼らが祈りの戦士と変えられた理由は何でしょうか。

2、主イエス様は祈りの訓練を弟子たちにさせられました。主イエス様は彼らが祈りの戦士になることを期待しておられたのです。

①彼らは3年半の主イエス様と共に歩む日々により、祈りの生活を教えられた。

②地上最大の霊の戦いであるゲッセマネで祈りにおいて、彼らの状況はどうでしたか。(マタイ 26:41)

③全てを知っておられる主イエス様があえてゲッセマネに彼らを連れて行かれた理由は何でしょうか。

- ・祈りにおいて、十字架の杯を飲むことがどんなに苦しいか教えられた。
- ・祈りによって、自分の思い願いを明け渡すことができる。
- ・自分だけでなく、祈りの応援が大きな助けになる。